

# 鶴岡の“宝の議席”守った

## 山形県議選

# 関氏再び激戦を勝ち抜く 日本共産党現有2議席確保

任期満了に伴う山形  
県議会議員選挙が7日  
（定数5）では1人は



関徹県議（右から2人目）と日本共産党市議団が選挙結果報告と決意表明の街頭宣伝を行いました（8日朝、荘銀タ外鶴岡前）

み出しの大激戦の中、  
日本共産党公認の関徹  
氏が7964票を獲得  
し、2期目の当選を果  
たしました。

関氏は選挙戦の中  
で、「市民と野党の共  
闘を進展させ、アベ政  
治をやめさせる」と訴  
え、県単位の運営とな  
った国保の「税負担引  
き下げ」「高校卒業ま  
で医療費無料化」「学  
校給食の無償化」など、  
県政政策を掲げて支持  
を広げました。

今回の選挙で自民党  
は、鶴岡市区で3人か  
ら2人へ1人減らし、  
得票数も前回3万43  
14票から3万051  
3票へ3801票減ら  
し、共産党を含め非自  
民票は、前回2万66  
14票から2万6614  
票へ191票の減に  
とどまりました。

山形市区（定数9）  
でも渡辺ゆり子氏が当  
選し、日本共産党は県  
議会での現有2議席を  
守りました。



消費増税を始めとする  
安倍政権の暴走を告発し、  
悪政から県民の暮らしを守  
る日本共産党の政策を訴え  
るべく街頭宣伝でも対話でも多  
くの共感と声援を頂きました。

史上初めて、鶴岡市の県議選で自民党を過  
半数割れに追い込んだ事は、4年前の初当選  
以降、参院選、知事選（無投票）、市長選、  
市議選と続く歴史的な流れです。

党員がこれまで以上の役割を發揮する  
ことが期待される中、公約実現に全力を挙げ  
ると共に、当面する参院選を始めとした戦い  
で市民と野党の共闘勝利と日本共産党の躍進  
を勝ち取るために頑張っています。

山形県議会議員 関徹

当選	佐藤 聡	自民・現	12,157
当選	志田 英紀	自民・現	11,780
当選	高橋 淳	無所属・新	9,470
当選	今野 美奈子	無所属・新	8,989
当選	関 徹	共産・現	7,964
	佐藤 久樹	自民・新	6,576

	今回(2019年)		前回(2015年)	
	得票数	得票率	得票数	得票率
日本共産党	7,964	14.0%	9,269	15.2%
自民党	30,513	53.6%	34,314	56.3%
民主党	-	-	9,702	15.9%
無所属	18,459	32.4%	7,643	12.5%

# 鶴岡市の0歳児数過去最高

## 若者の非正規雇用と貧困で結婚・子育て困難に

鶴岡市の昨年度出生の0歳児は712人となり、1昨年の出生数735人から22人、現在の1歳児756人から44人減って、過去最

低の数字となっており、地域別で見ると、1歳児と比べ鶴岡は2人増に対し、藤島▲13人、羽黒▲11人、櫛引▲20

人など旧町村の出生数が大きく減少している三川町でも▲23人で54人となり、急激

な少子化が進んでいままでも、この数字から明らかです。

大企業優先の自民党政治の破綻明らか

少子化の要因は明確で、若者の非正規雇用と貧困化、中小企業と地域農業の破壊などで、結婚して子育てが困難な社会を創り出したことにあります。

これまでの大企業・財界優先の自民党政治が破綻していることは明らかです。

さらに平成大合併が誤った選択であったこ

とも、この数字から明らかです。

皆川治市長は2019年度、鶴岡市第2次総合計画の初年度として、「ほんとうの豊かさ

を追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち 鶴岡」

を「めざす都市像」に掲げ、「未来創造のプロジェクト」で「若者・子育て応援」や、「地域まちづくり未来基金」を活用した「地域まちづくり未来事業」などで少子化対策と地域活性化に力を入れます。

## 地域包括支援センターの公募化当面難しい

### 市地域包括支援センター運営協議会

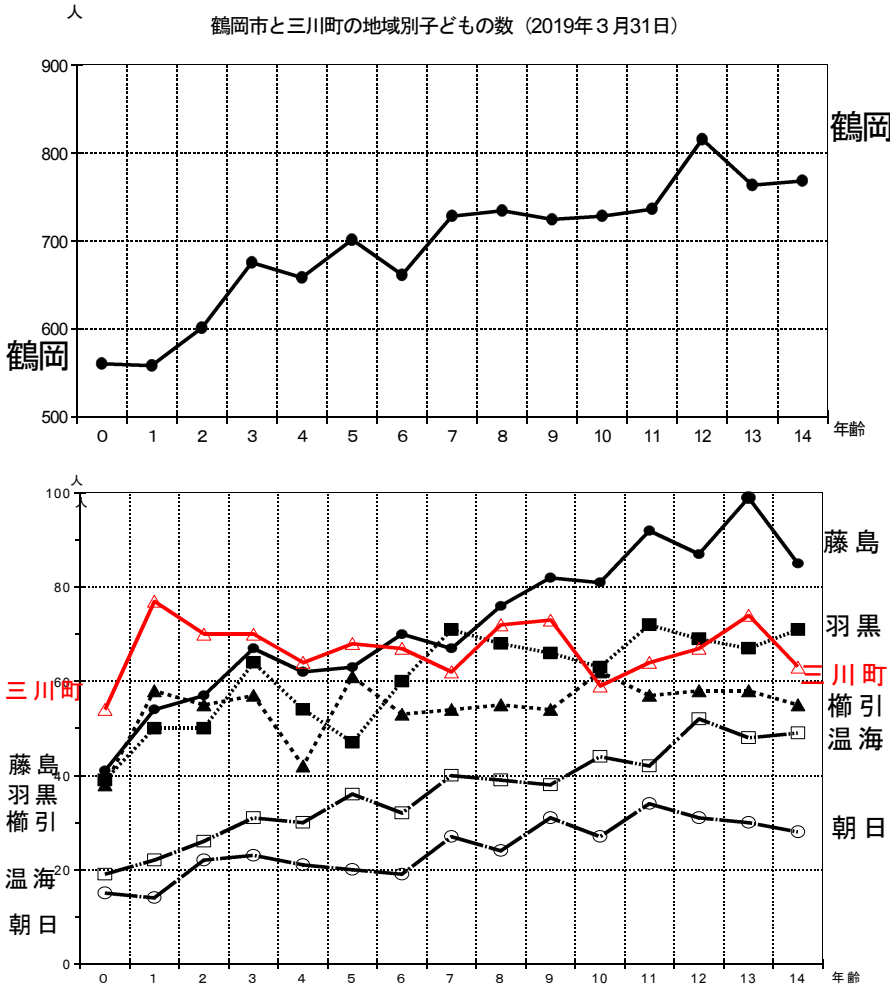
平成30年度第4回市地域包括支援センター運営協議会が3月26日に開かれ、31年度の運営方針、公募制について協議がされました。

後は引続き先行自治体などを参考に研究してゆくとなりました。

運営方針については、地域包括支援センターの機能強化として、保健師、社会福祉士、主任介護専門員の3職種を配置する事を明文化する等、7つの方針を掲げています。

また、地域包括支援センターの名称等の変更として、羽黒地域のセンター名が「かみじ荘」から「はぐろ」に変わること、昨年の地区再編でそれまでの湯野浜・加茂・西郷に大山が加わった「しおん荘」が「鶴岡西地域包括支援センター」に名称変更し、運営拠点を4月1日から大山の旧友江荘に変更されること、さらに新年度から設置される地域包括ケア推進室の概要などについて報告がされました。

鶴岡市の地域別及び三川町の子どもの数 (2019年3月31日現在)



鶴岡市の地域別子どもの数 (2019年3月31日)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
鶴岡	男	275	279	285	340	309	345	329	382	367	392	391	406	407	375	407
	女	285	279	316	335	349	356	332	346	367	332	337	330	408	388	361
	計	560	558	601	675	658	701	661	728	734	724	728	736	815	763	768
藤島	男	25	26	30	28	27	33	35	31	42	41	40	45	40	50	40
	女	16	28	27	39	35	30	35	36	34	41	41	47	47	49	45
	計	41	54	57	67	62	63	70	67	76	82	81	92	87	99	85
羽黒	男	21	28	24	39	33	27	31	36	33	35	32	35	29	37	38
	女	18	22	26	25	21	20	29	35	35	31	31	37	40	30	33
	計	39	50	50	64	54	47	60	71	68	66	63	72	69	67	71
櫛引	男	25	34	31	25	18	29	26	32	23	28	26	33	29	29	30
	女	13	24	24	32	24	32	27	22	32	26	36	24	29	29	25
	計	38	58	55	57	42	61	53	54	55	54	62	57	58	58	55
朝日	男	5	8	12	12	9	12	13	14	10	17	15	16	14	18	13
	女	10	6	10	11	12	8	6	13	14	14	12	18	17	12	15
	計	15	14	22	23	21	20	19	27	24	31	27	34	31	30	28
温海	男	9	8	15	20	16	20	14	14	21	18	19	20	24	26	28
	女	10	14	11	11	14	16	18	26	18	20	25	22	28	22	21
	計	19	22	26	31	30	36	32	40	39	38	44	42	52	48	49
合計	男	360	383	397	464	412	466	448	509	496	531	523	555	543	535	556
	女	352	373	414	453	455	462	447	478	500	464	482	478	569	530	500
	計	712	756	811	917	867	928	895	987	996	995	1005	1033	1112	1065	1056

三川町の子どもの数 (2019年3月31日)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
三川町	男	25	42	36	41	37	33	36	29	40	39	39	30	29	41	33
	女	29	35	34	29	27	35	31	33	32	34	20	34	38	33	30
	計	54	77	70	70	64	68	67	62	72	73	59	64	67	74	63

検討されてきた公募制については、市当局から前回協議会の主要意見や、公募制実施の他市の状況などの聞き取り状況なども踏まえた結論として、「相談先が変わることによる市民の不安や、職員の人材確保の課題が多く出されたことから、公募制の導入については当面難しいとの考え」との見解が示され、今

協議会には菅井巖市議の他に、庄内医療生協の関係者などが傍聴しました。